

## ニュースレター

日本臨床細胞学会

神奈川県支部

第29号

平成25年10月28日発行

事務局：〒259-1143

神奈川県伊勢原市下糟屋143

東海大学医学部附属病院 病理検査技術科内

TEL：0463-93-1121(内線6563)

FAX：0463-94-6776

第31回 日本臨床細胞学会 神奈川県  
支部学術集会が北里大学医学部 佐藤  
之俊会長のもと開催されました

第31回 日本臨床細胞学会 神奈川県支部学術集会を終えて

北里大学医学部 呼吸器外科学 佐藤之俊



去る平成24年9月22日(土曜日)に第31回 日本臨床細胞学会 神奈川県支部学術集会を、相模原市南メディカルセンターにて開催し、盛会にて無事終了することができました。当日はやっぱり秋らしい気温となり、スタッフを含め約180名の参加者がありました。これもひとえに支部長をはじめとする支部会員皆様のご協力の賜と感謝いたします。

さて、学術集会は、一般演題11題、スライドカンファレンス3題で、さらに藤間病院の大塚重則先生には「ベセスダシステムの実際と将来の展望」と題して教育講演をお願いし、また、東京理科大学工学部の浜本隆之教授には「高機能化が進むイメージセンサ技術」と題して特別講演をお願いしました。教育講演では、近年導入されたベセスダシステムについての現状と問題点を理解し、将来へと繋がるお話を伺うことができました。また、特別講演では、細胞診関係の集会でイメージセンサについてのレクチャーを受ける機会は殆どないのですが、最近発展の著しい画像処理技術につ



挨拶をする佐藤会長

いての解説を聞くことができたのは大変有意義なことでした。終了後、近くのレストランで懇親会を開きましたが、こちらも多くの参加者があり、大いに盛り上がりました。

今回の開催に当たっては、数ヵ月前から準備を担当していただいた事務局の当科スタッフと、実務を担当頂いた北里大学病院 病院病理部細胞診の柿沼廣邦さんをはじめとする病理・細胞診スタッフの皆様方、本学婦人科の先生方、そして本学医療衛生学部臨床細胞学の服部学先生ほかの皆様へ、大変お世話になりました。誌面をお借りし深く感謝いたします。最後に、次回の第 32 回 日本臨床細胞学会 神奈川県支部学術集会の成功を祈願いたします。



浜本隆之教授による特別講演「高機能化が進むイメージセンサ技術」



大塚重則先生による教育講演「ベセスダシステムの実際と将来の展望」

## 《訪問帳 visiting book ~その二 》 日本臨床細胞学会神奈川県支部

### 「社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市南部病院 ～病理部～」

前回から始まった職場紹介!! 第二回は、前広報委員会委員長 高久さんの御膝元、  
“社会福祉法人 恩賜財団 済生会横浜市南部病院”を紹介致します。 南部病院は昭和 58 年に横浜市  
の南部地域における地域中核病院として開院され、今年で開院 30 周年を迎えました。

当院の病理部は、中山崇病理部長を中心に、大沢淳子先生、小野麻衣先生の 3 名の医師が、横浜市立大学(福浦、センター)に医師の支援をいただき、診療にあたっています。



また、病理医のほか、臨床検査技師・細胞検査士 5 名、事務 1 名で検査・診断業務をおこなっています。実は部長以下、経験と知識・技能豊富なスタッフにより病理部は長らく発展し、平均年齢が高くなっていましたが、平成 25 年度より若手病理医と若手技師が加わり、みんな若返った気持ちで日々の仕事に取り組んでいます。和気あいあいとした職場であり、医師・技師ともに一丸となって増え行く検体や、時代とともに発展していく特殊検査に応えていきたいと思えます。以上、新人（山口）の紹介文でした。

では、古参（高久）が南部病院の 30 年史をご紹介します。



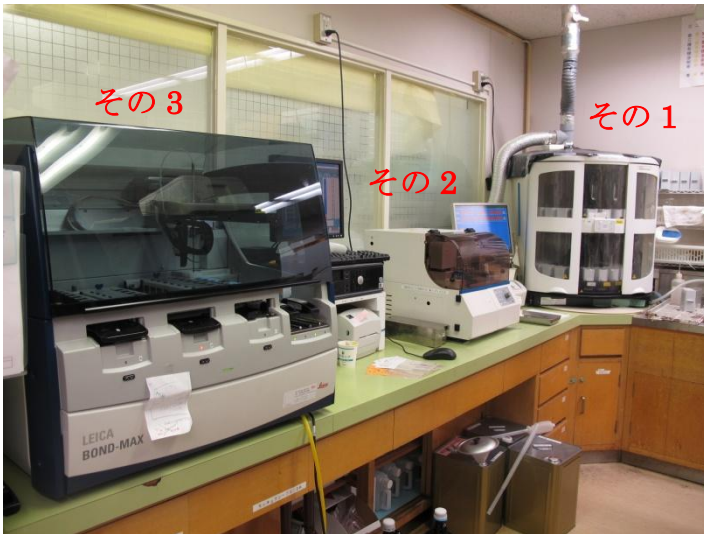
先生方の紹介写真にあるデスクッション顕微鏡、そして電子カルテ・外部 PC を横浜市立大学病院同様の大型液晶モニターに接続し、病理部で部内・外のカンファレンスを開催することが可能に！（昔は、小さいモニターで電カル無）





電子カルテ化に伴い、私たちCTも細胞像の一部を画像保存（退色しない）しています。（昔は、アナログリバーサルフィルム）

電動クリオスタットも、2台（ザルトリウスって、知ってます？）



自動化3種勢揃い、《その1》自動染色機HE&PAP（染色かごカシャカシャ鳴らして、水洗してたのに、、、）《その2》自動封入器（汚い封入と先輩に怒られて、、、）《その3》なんと、全自動免疫染色装置BOND-MAX（一枚一枚、スライド拭いて&発色も、、、）



臭い臭い病理室が、切り出し台にプッシュプル、流し台に直接型排気装置、自動包埋装置（昔は、ロータリー）に完全罫式排気装置で、病理部はクリーンルームに変身！

ホルマリン 0.05ppm > ・クロロホルム第1管理区分（自慢です。）

さて、最後に30年史クライマックス。マイクロトームの「歴史図鑑」  
大型滑走式（オイル式、因みに私の）→スライディングマイクロトーム（ノンオイルベアリング式、40歳代使用）→リトラトーム（なんで、コンセントが要るの。停電したら使用不可なんて。20歳代使用）変わりましたね～



こんな病理部を覗いてみたくなったら、何時でもお越し下さい。

**Welcome !! 済生会 横浜市 南部病院**

(● ^ o ^ ●) !